

## 平成25年度 鬼無里公民館運営審議会 会議録

- 1 日 時 平成25年6月26日(水) 午後7時
- 2 場 所 鬼無里公民館 2階 講義室
- 3 出席者
  - ・鬼無里公民館運営審議会委員 7名
  - ・鬼無里公民館分館長 3名
  - ・事務局 2名
- 4 傍聴人 なし
- 5 審議事項
  - ・鬼無里公民館活動の重点目標について
  - ・平成25年度鬼無里公民館事業計画について
- 6 審議内容
  - 会 長 鬼無里公民館概要及び活動の重点目標について説明を求める。
  - 事務局 <資料2により説明>
  - 会 長 重点目標などについて質問、意見を願います。  
<意見なし>
  - 会 長 平成25年度鬼無里公民館事業計画について説明を求める。
  - 事務局 <資料3により説明>
  - 会 長 平成25年度鬼無里公民館事業計画について質問、意見を願います。
  - 委 員 公民館本館があり、更に3地区の分館があり、これだけの事業を1年間に消化することはとても大変だと感じております。今までの経過の中で、人集めで大変なご苦労があるかと思えます。  
分館長さんを含め、この地区での生涯学習、社会教育をやるにつけて、人口が減少し、高齢化率が高くなっている現状の中、地域の皆さんが一丸となれるご努力に我々も協力しなければいけないと思えます。
  - 委 員 私も分館の行事に参加させて頂いていますが、高齢でしかも人集めが大変ですが、いろいろと工夫してもらって、地域の人達が大勢出てもらって非常に感謝しております。地域の中には、もう分館は必要ないのではとの声も聞きますが、やらないと余計地域のつながりも出来てきませんので、そうゆう面では1年に1度くらいは参加できるように工夫してもらおうのが良いのではと思えます。

- 委員 学校もいろいろなところへ参加させて頂いてとても有難いと思います。今後は学校の活動とからめて出来ることがあれば良いなと思います。前任校の時は児童も生徒も関われる講座を設けてもらい、バスを出していただき参加することが出来ましたので、活動できるように前向きに取り組んでみたいと思います。
- 委員 わんぱく教室の募集が1回ごとの募集ですが、去年は年間を通しての募集をしていましたが、子どもさんも習い事があると参加出来ないと保護者から意見が出ていたようです。今回はその都度募集するようにしたのは良いと思います。
- 委員 事業の日程の話が出ていますが、いっぱい講座を組んでもらっていますが、老人福祉センターの講座もあり、それぞれ出る人は大体決まった顔ぶれの様です。自分も中央分館でお世話になりましたがやはり人集めが大変だと思います。
- 委員 上里分館での農休運動会をテレビの情報局の番組で見ていると、じいちゃんからばあちゃんまで大勢の人が出てやっているのを見るととても良いなと思いました。私は「くらしの会」をやっているのですが、公民館の「おでやれくらぶ」と重ならないように日程調整をしてもらって参加させてもらっています。
- 会長 只今みなさんからご意見を頂き公民館活動が非常に大変な時期に入っていますが、委員のみなさんからご提案があったのですが、引き続きご意見があったらお願いしたい。
- 委員 わんぱく教室のキャンプの会場が小田切地区にある錬成センターになるわけですね。戸隠や地元の奥裾花のキャンプ場があるんだけど、特に奥裾花は今使えないってことですか。どうなのでしょう。
- 事務局 緊急の時の連絡ができないんです。携帯も使えませんので万が一の場合に困ります。その点、錬成センターは施設の管理などきちんとされていますので安心して使わせてもらっています。
- 委員 確かに小学校や中学校の児童や生徒さんのキャンプは過去奥裾花で開催されていたんですが、緊急通信が使えないってことだが、あそこも防災無線があるので全く陸の孤島ではないので、出来れば地元の雄大な施設を利用し、すばらしい自然がある中でやってもらいたいと思います。将来検討してもらいたい。
- 事務局 また検討してみたいと思います。
- 委員 以前に奥裾花でキャンプをした時に大雨で水がでた事があって保護者がすごく心配して通信も出来ない場所ではどうかなと言うことになり、キャンプの開催場所が変更されたのだと聞いています。
- 会長 今日公民館の講座で地区内のお堂巡りで財又から始まって4カ所

回らせてもらったが、私たちが鬼無里に居ながら初めてだったわけです。先ほど校長先生からお話がありましたが、子ども達にも地区内の文化財など一緒に勉強出来れば良いなあと今日改めて感じました。文化や伝統を継承していくには良いと思います。

事務局 お子さんと一緒にとなると土日とかになってしまうと思うのですが、伝えていかなければいけない事なので一緒に学習していく必要があると思いますので前向きに考えてみます。

委員 長野市になってしまってから子ども達にいろいろな活動をさせたくても庁用バスなどいろんなものが使えなくなってしまって、平日でも子ども達に何か活動させたい時に公民館の講座を計画してもらってバスなどを使って奥裾花にいくとか地域を巡るとか平日にやっていただければ職員も一緒に行動できるのでお願いしたい。

会長 学校ということで庁用バスは使えないんですか。

委員 不平等になるから使わせてもらえないのです。

事務局 良いところはお互いに協力し合って行くということで、我々も人集めには結構苦勞しています。公民館活動であれば庁用バスは使えますので子ども達が参加しやすい計画を立てていけたらと思います。

委員 こんな素晴らしい文化があったり、自然があったりしているのに、子どもたちはそれがすごいことだと感じてないで当たり前になっているんですね。外からきた人にはそれが素晴らしいからもっとそれに親しませてやり、鬼無里を誇りに持ってほしいという思いがあるのにもうまくいかないのが悩みです。

会長 それぞれの分館長さん方に事業のことで何かありましたらお話したい。

分館長 なかなか難しい時代になってきたということを感じます。先ほど委員さん達の方からも意見も出ましたが、少子化ばかりでなくて高齢化が進んでしまって分館活動が難しくなってきた。ということと時世がこうなったせいか年金制度が引き上げられるせいか就職の最終年度が引き上げられたせいか、65歳が70歳まで働けるようになったせいかとにかく参加してもらえなくなった。土日でも働いている人は休んでいられない。休むと使ってもらえないと言い今まで日曜日に事業をやれば大体出られたのが職種の勤務形態がばらばらになって人が集まらない。

今年度の事業は計画どおりやる予定で進めていますが、ひとつ困っている事は、分館で計画しても高齢化で出席出来ないという地域が出てきました。今年度の地域での家族運動会には車を出して地区内を回るようにした。また、盆行事にも出られない地区があるとはっ

きり言われてしまった。これらが悩みの種です。また、バスを運行しないと参加してもらえない、そればかりでなく、趣味の講座も出来るだけみんなを対象に計画し、運動会もおもしろみの研究もやってみたい。

分館長　　うちの分館も人を集めるのは大変ですけど、農休運動会に関しては地区内の人だけでなくその日だけ帰ってきて参加している人もいました。出れないから止めてもらいたいという地区もあったがやってみるとそこそこに人が集まっていて、小言は言われなかったし、来年もやってほしいという意見はあったがやりたくないと言う人はひとりもいなかった。体力登山は43回目となるわけですが、参加者を集めるのが厳しい。参加者はバス1台に乗れる人数を予定しています。

参加者からは、「やって良かった」「行って良かった」との声が多く聞かれています。

分館主事　2分館のお話を聞いていると本当に大変で頭が下がる思いです。中央分館は運動会は班対抗ですが、もともと人数が多いので、募集をするとそこそこに参加してもらえています。両分館がご苦労されているお話は今後参考にしていきたい。可能であればそれぞれの事業などに分館同志のつながり、協力があっても良いのではないかとも思います。

委員  
事務局　移動図書は  
移動図書は南部図書館分室の事業ではなく、本館事業で行っているものです。

委員  
事務局　実績を見ると利用者が減少ぎみでは。  
合併前は本の貸出等は各地区での健康教室や出前公民館の開催時に持参し、各地区へ出向いた時に借りることが出来ましたが、現在は直接公民館へ来ていただいています。新刊図書も入ってきますが地域住民への周知が弱いので、回覧や告知放送で周知を図りたい。

会　長　意見等がないようなので、以上で審議を終了する。

(終了時間　8時30分)